

「地球はかけがえない星」

大樹高 JAXA の阪本さん講演

【大樹】天樹高校(佐藤安弘 校長、生徒130人)と町共催の「ふるさとの人講話」が、1日午後2時から同校体育館で開かれた。宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究本部対外協力室の阪本成一さんが月に関して講演。町民らも来場し、耳を傾けた。同校は昨年度から総合的な学習の時間の一環として、人権や職業観を聞く同講話を始めており、今年度2回目。今回は9月に町とJAXAが結んだ「連携協力協定」で、地元の子供や町民対象の講演会の実施など教育的支援を盛り込んでいることから、第1弾として町民らに開放することになった。

阪本さん講演する



阪本さんは「かけがえない星」を見た月にテーマに講演。

米国のアポロ計画で月探査の歴史を説明した後、月周回衛星「かぐや」について「日本

の科学衛星として過去最大の規模で、月から100キロ離れた位置を飛んでいる」と述べた。かぐやがとらえた動画を流しながら月の表側の地表は滑らかなが裏側はぼこぼこしていると指摘。最後に「宇宙に出て初めて地球はかけがえない星だとも感じる。環境問題などの対応により人間は本当の知的生命体になれるのか試されると結んだ。(北雅貴)